

(表紙)

平成 26 年度

「校長経営戦略予算配付申請書」
(加算)

大阪市立田川小学校

校長 白石 真二

平成 26 年 5 月

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

【視点 学力の向上】

平成 25 年度は、道徳を中心に OJT も活用しながら研究授業・研修を実施することにより、授業力の向上に一定の成果があった。「授業評価アンケート」の「授業内容がよくわかる」の項目では、昨年度を 2.27 ポイント上回った。全国学力・学習状況調査では、昨年度の結果を比べると、「国語 A：主として知識」では 4.2 ポイント上昇し、「国語 B：主として活用」では 2.7 ポイント上昇した。しかし、「算数 A：主として知識」では -5.2 ポイント、「算数 B：主として活用」では -3.3 ポイント下降した。平成 25 年度の全国平均と比べると「国語 A」では -4.6 ポイント、「国語 B」では -1.8 ポイント、「算数 A」では -2.8 ポイント、「算数 B」では -0.5 ポイント、それぞれ全国平均を下回っている。

低学力層に対する更なる取り組みと、家庭との「家庭学習の定着を図る連携」を強化する必要がある。

【視点 道徳性・社会性の向上】

平成 25 年度は、学校全体で道徳の研究に取り組み、言語活動を通して自他を尊重する心の育成に取り組んだ。また、学級活動や朝礼時など、学校全体で子どもたちが頑張っている良い点を認め合い、望ましい人間関係が作れるよう心掛けた。しかし、アンケートの「自分にはよいところがありますか」の項目では、全国平均にくらべると -18.1 ポイントも下回り、さらなる自尊心の醸成に向けて取り組む必要がある。あいさつについては、毎日の登校時におけるあいさつ指導や、あいさつ月間等の取り組みにより、大きな声であいさつをする児童が増えた。しかし、「近所の人に会ったときは、挨拶をしていますか」の項目では、全国平均と比べると -8.8 ポイント低く、来客へのあいさつも含めて、保護者・地域と連携し、さらに取り組みを工夫し、児童に働きかけていく必要がある。

【視点 健康・体力の保持増進】

平成 25 年度の 2 学期から取り組んだ「朝の全校ラジオ体操」は定着してきた。そして、中学校・地域・保護者の協力による水泳特別練習により、泳げなかった参加者の半数以上が 25M 以上泳げるようになった。引き続き研修で学んだことを日々の授業に活かし、楽しみながら体力向上を図るようにする必要がある。

5 年の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の合計得点平均は昨年度を上回った。特に男子は全国平均を 0.3 ポイント上回ったが、女子については、1.76 ポイント下回っており、E 段階の割合も全国の 2 倍である。女子が日常的に身体を動かす工夫が必要である。

校内のけがについては、安全週間の取り組みを行うなど、安全に対する児童の意識の向上を図り、一定の成果があった。けがによる病院での受診は、21 件から 34 件と増えてしまった。基礎体力の向上と、廊下歩行等の安全面でのマナー向上に留意し、継続した指導が必要である。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

【視点 学力の向上】

- 平成 27 年度の「全国学力・学習状況調査」の国語・算数の全体の正答率を平成 24 年度より 5 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の「全国学力・学習状況調査」「授業評価アンケート」で、「授業内容がよくわかる」「授業がわかりやすい」と答える児童の割合を平成 24 年度より 5 ポイント向上させる。 (マネジメント関連)
- 平成 27 年度の「授業評価アンケート」で、「授業中、自分の考えを書いたり、話したりする機会があると思いますか」の項目で、「そう思う(だいたいそう思う)」と答えた割合を平成 24 年度より 5 ポイント向上させる。 (マネジメント関連)

【視点 道徳性・社会性の向上】

- 平成 27 年度の「全国学力・学習状況調査」で、「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を平成 24 年度より 5 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度「全国学力・学習状況調査」で、「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を平成 24 年度より 5 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における 5 年生の合計得点平均を、平成 24 年度より 5 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の「校内でのけがによる病院での受診」を平成 24 年度より 1 割減少させる。 (カリキュラム改革関連)

3 中期目標の達成に向けた年度目標 ※運営に関する計画再掲

【視点 学力の向上】

- 本年度「学習理解度到達診断（しんだん）」国語・算数において、正答率3割以下の児童の割合を、全学年で昨年度より3ポイント減少させる。（カリキュラム改革関連）
- 本年度「授業評価アンケート」で、「授業内容がよくわかる」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」の答えの割合を、昨年度より3ポイント向上させる。（マネジメント改革関連）
- 本年度「授業評価アンケート」で、「授業中、自分の考えを書いたり、話し合ったりする機会があると思いますか」の項目で、「そう思う（だいたいそう思う）」と答えた割合を、昨年度より3ポイント向上させる。（マネジメント改革関連）

【視点 道徳性・社会性の向上】

- 平成26年度「全国学力・学習状況調査」で、「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度より3ポイント向上させる。校内の「児童アンケート」でも経年変化を見る。（カリキュラム改革関連）
- 平成26年度「全国学力・学習状況調査」で、「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度より3ポイント向上させる。校内の「児童アンケート」でも経年変化を見る。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成26年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における5年生の合計得点の平均を、昨年度より1ポイント向上させる。（カリキュラム改革関連）
- 平成26年度の「校内でのけがによる病院での受診」を25年度より2割減少させる。（カリキュラム改革関連）

4 本年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲（年度末に記述）

申請受付日
指導部で記入 →
/

【様式 2 - 1】

(所属(市費)コード 641391)

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【基本配付】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○本年度「学習理解度到達診断（しんだん）」国語・算数において、正答率3割以下の児童の割合を、全学年で昨年度より3ポイント減少させる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○本年度「授業評価アンケート」で、「授業内容がよくわかる」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」の答える割合を、昨年度より3ポイント向上させる。(マネジメント改革関連)</p> <p>○本年度「授業評価アンケート」で、「授業中、自分の考えを書いたり、話し合ったりする機会があると思いますか」の項目で、「そう思う（だいたいそう思う）」と答えた割合を、昨年度より3ポイント向上させる。(マネジメント改革関連)</p>	

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【**基本配付**】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳性・社会性の向上】</p> <p>○平成 26 年度「全国学力・学習状況調査」で、「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度より 3 ポイント向上させる。校内の「児童アンケート」でも経年変化を見る。</p> <p>○平成 26 年度「全国学力・学習状況調査」で、「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度より 3 ポイント向上させる。校内の「児童アンケート」でも経年変化を見る。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育の推進】</p> <p>自他を尊重する心を育成する。（カリキュラム改革関連）</p>	
<p>指標</p> <p>年度当初に道徳の授業の進め方について研修会を 1 回持つ。そして、内容項目の視点 2 「主として他の人とのかかわりに関すること」に関する授業を学期に 1 回は行う。（カリキュラム改革関連）</p>	

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【**基本配付**】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における 5 年生の合計得点の平均を、昨年度より 1 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○平成 26 年度の「校内でのけがによる病院での受診」を 25 年度より 2 割減少させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【運動する機会の充実】</p> <p>朝の始業前や昼休み・15 分休み、家庭、放課後等、体を動かす機会を充実させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>年間を通して、毎朝、始業前にラジオ体操に取り組む。</p> <p>第 1 回全国小学校ラジオ体操コンクールで、全国 1 位を目指す。</p> <p>年間を通して週 1 回、クラス全員で外遊びをする時間を持つ。</p> <p>冬場に駆け足週間やなわとび週間を設定する。</p> <p>柔軟性や基礎体力を高める運動を PTA 総会や学校だより、校長室だよりで学期に 1 回、家庭に呼びかける。</p> <p>陸上や水泳、なわとびの競技大会に参加する。</p> <p>(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>取組内容②【体育の授業の充実】</p> <p>授業の中で、敏捷性・跳躍力・持久力を高める運動を継続して取り入れる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>年間を通して体育時に持久力を高める運動をおこなう。</p> <p>ラダーやフレキシブルハーダル等の器具を活用する研修を年度当初に 1 回行う。</p> <p>小中連携による体育の出前授業と合同研修を 1 回ずつ行う。</p> <p>4・5 年で体力テストを実施する。</p> <p>泳ぎの苦手な児童に対して特別水泳指導を 3 日間行う。 (カリキュラム改革関連)</p>	

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

【様式 2 - 2】

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【基本配付】配付申請書

配付申請額 500,000 円

※配付上限額(※円単位)

学校配当	学級数	学級配当	特別支援学級数	学級配当
200,000	+	12	×	20,000

配付上限額

=	500,000
---	---------

◆費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
187,200	12,800					

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
300,000					500,000

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【道徳教育の推進】

自他を尊重する心を育成する。(カリキュラム改革関連)

取組内容①【運動する機会の充実】

朝の始業前や昼休み・15分休み、家庭、放課後等、体を動かす機会を充実させる。
(カリキュラム改革関連)

取組内容②【体育の授業の充実】

授業の中で、敏捷性・跳躍力・持久力を高める運動を継続して取り入れる。
(カリキュラム改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	自然体験学習看護師謝礼 @38,000×1人 自然体験学習指導員講師謝礼 @23,000×2人 体験活動講師謝礼 昔遊び @4,300×2時間 英語活動 @4,300×22時間	187,200
11-1	植栽用花苗 100×128	12,800
13	演劇鑑賞委託料	300,000

申請受付日
指導部で記入 →
/

【様式 3 - 1】

(所属(市費)コード 641391)

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【加算配付】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○本年度「学習理解度到達診断（しんだん）」国語・算数において、正答率3割以下の児童の割合を、全学年で昨年度より3ポイント減少させる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○本年度「授業評価アンケート」で、「授業内容がよくわかる」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」の答える割合を、昨年度より3ポイント向上させる。(マネジメント改革関連)</p> <p>○本年度「授業評価アンケート」で、「授業中、自分の考えを書いたり、話し合ったりする機会があると思いますか」の項目で、「そう思う（だいたいそう思う）」と答えた割合を、昨年度より3ポイント向上させる。(マネジメント改革関連)</p>	

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【**加算配付**】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳性・社会性の向上】</p> <p>○平成 26 年度「全国学力・学習状況調査」で、「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度より 3 ポイント向上させる。校内の「児童アンケート」でも経年変化を見る。</p>	
<p>○平成 26 年度「全国学力・学習状況調査」で、「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度より 3 ポイント向上させる。校内の「児童アンケート」でも経年変化を見る。</p>	

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【加算配付】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における 5 年生の合計得点の平均を、昨年度より 1 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○平成 26 年度の「校内でのけがによる病院での受診」を 25 年度より 2 割減少させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【運動する機会の充実】</p> <p>朝の始業前や昼休み・15 分休み、家庭、放課後等、体を動かす機会を充実させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>年間を通して、毎朝、始業前にラジオ体操に取り組む。</p> <p>第 1 回全国小学校ラジオ体操コンクールで、全国 1 位を目指す。</p> <p>年間を通して週 1 回、クラス全員で外遊びをする時間を持つ。</p> <p>冬場に駆け足週間やなわとび週間を設定する。</p> <p>柔軟性や基礎体力を高める運動を PTA 総会や学校だより、校長室だよりで学期に 1 回、家庭に呼びかける。</p> <p>陸上や水泳、なわとびの競技大会に参加する。</p>	
<p>取組内容②【体育の授業の充実】</p> <p>授業の中で、敏捷性・跳躍力・持久力を高める運動を継続して取り入れる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>年間を通して体育時に持久力を高める運動をおこなう。</p> <p>ラダーやフレキシブルハーダル等の器具を活用する研修を年度当初に 1 回行う。</p> <p>小中連携による体育の出前授業と合同研修を 1 回ずつ行う。</p> <p>4・5 年で体力テストを実施する。</p> <p>泳ぎの苦手な児童に対して特別水泳指導を 3 日間行う。 (カリキュラム改革関連)</p>	

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

【様式 3 - 2】

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【加算配付】配付申請書

配付申請額 665,019 円

◆費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
	265,419					

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
399,600					665,019

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【運動する機会の充実】

朝の始業前や昼休み・15分休み、家庭、放課後等、体を動かす機会を充実させる。
(カリキュラム改革関連)

取組内容②【体育の授業の充実】

授業の中で、敏捷性・跳躍力・持久力を高める運動を継続して取り入れる。

(カリキュラム改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	とびなわ @693×383 人	265,419
13	全国小学校ラジオ体操コンクール参加用の動画政策委託料	399,600

【様式 3 - 3】

大阪市立田川小学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算 【加算配付】配付申請書 (補足説明資料)

「平成 25 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果から本市の総合評価は、小・中学校、男女ともに全国平均と比べ A・B の割合が低く、D・E 段階の割合が高かった。また一週間の総運動時間が 0 分の児童生徒は小中共に多いという結果が報告されている。本校においても総合評価では、男子は A の割合は全国平均を 0.9 ポイント上回っているが、D・E の割合が高かった。また、女子においては A の割合は全国平均と同じではあるが、D・E の割合が高く E においては 6.6 ポイントと全国との差が顕著である。また、運動実施状況においても、まったく運動しない児童の割合が男女とも全国平均の倍前後の値を示している。

このような現状を受け本校では、体力向上と継続して運動に親しむ習慣を身に付けさせることを目指して、昨年の 2 学期より全校一斉ラジオ体操を始業前に毎日実施している。

現在の「ラジオ体操第一」は 1951 年に考案された体操で、健康保持増進、体力向上に役立つ運動方法として永年国民に広く愛用してきた。科学が進歩した今日においても生活の中に取り入れられ、老若男女に認知されている庶民の文化として定着している。

ラジオ体操の特徴は動きがシンプルかつ効果的で約 3 分間の体操で、全身約 400 の筋肉に刺激を与えることができる。また学童期は全身の神経回路が発達する時期なので、音楽に合わせて体を動かすだけで十分効果的である。

【ラジオ体操の期待できる効果】

- ① 始業前、まずは体を動かす気持ちよさを味わい、血流も高め学習効率を向上させる。
- ② 毎日運動することにより体力向上、健康の保持増進が図られる。
- ③ 国民的なラジオ体操を身に付けることで生涯スポーツにつながる。
- ④ 体操を正しく行うことで、体力、柔軟性、バランス感覚等が養われる。
- ⑤ ラジオ体操の歌を歌い、号令をかけながら体操することにより、日々の学校生活において自然と声が出るようになり、あいさつ運動の広がりやコミュニケーション能力の向上も期待できる。
- ⑥ 全校児童が毎朝定時にしかも教師の力を借りず、自主的に整然と整列し集団行動することにより規律ある学校生活と、緊急な事態に遭遇した場合での対応が容易になる。
- ⑦ 保護者、地域住民とともに体操することにより、地域の学校としての一体感が生まれる。

また、今年度はさらにラジオ体操効果を確実なものにするため、「第 1 回全国小学校ラジオ体操コンクール」に応募し、全国 1 を目指し学校・保護者・地域が一体となり全国 1 を目指しての取り組みを進める。

応募は 5 分間の動画によるもので動画内容は、①学校紹介 ②全校児童一斉のラジオ体操風景 ③各学年選抜児童によるラジオ体操第一 ④ P T A ・ 地域住民と共に体操。

特にアピールしたい事項は、①始業前、全校児童、全教職員による体操。②教師の手を借りず、児童の自主的な活動。③ラジオ体操の歌を歌いながらの整列と準備体操。

④全員が掛け声を出しての体操。⑤校内ラジオ体操コンテストによる選抜児童の決定。

⑥ラジオ体操検定表を活用した正しいラジオ体操の指導。⑦全学年（1～6 年生）によるチーム編成。

以上の取り組みに併せ、継続的な運動を家庭でも可能にするための方策として、全児童に縄跳び持たせ、個々の体力、技術にあった短縄跳びを行わせる。

「日本1になるぞ！」を合言葉に、ラジオ体操の質が向上し意欲的な意識が生まれることにより、自ずと児童の体力の向上と田川小学校の活性化が図れ、この取り組みが全市小学校に拡大することを願っている。